

THE VINTAGE SCORE 電話線

流れるメロディとスリリングな
展開が融合した初期の名曲

矢野顕子

WORDS & MUSIC BY AKIKO YANO



「JAPANESE GIRL」

徳間ジャパン 25JC-342

1. 気球のつて
2. クマ
3. 電話線
4. 津軽ツアー
5. ふなまち唄Part II
6. 大いなる樅の木
7. へこりぶたあ
8. 風太
9. 丘を越えて
10. ふなまち唄Part I

ボーカルと一体化した歌うようなピアノの典型

文/立川芳雄

「電話線」は、矢野顕子のデビュー・アルバム「JAPANESE GIRL」に収められている曲である。このデビュー・アルバムは、76年にリリースされたのだが、いま聴いてもまったく古くささを感じさせない。まさに日本のポップ史に残る名盤である。

このアルバムをレコーディングしたとき、彼女はまだ21歳だった。それだけでもたいしたものだが、なんと「大いなる樅の木」という曲だけは、彼女が18歳の時に録音されている。まさに天才少女。しかも矢野顕子の凄じところは、このデビューの時点で彼女の音楽スタイルが完全に完成していたという点だろう。「JAPANESE GIRL」は、「若々しいがまだ粗削りなデビュー・アルバム」などではなく、「若々しくしかもすでに完成された1つの個性」なのである。実際、まだ聴いたことのない人は、このアルバムが彼女の最新作だと言われても信じてしまうだろう。

日本のポップス界も、この若き天才の出現に驚き、できるだけ良い条件でデビュー・アルバムを制作させようとしたようだ。だから、このアルバムの参加ミュージシャンはとても豪華である。当時のLPでは、A面が「AMERICAN SIDE」、B面

が「日本面」となっている。「日本面」に参加しているミュージシャンは、細野晴臣やムーニャーライズの面々など。これだけでも新人アーティストのデビュー・アルバムとしては贅沢だと思うが、A面の方は、当時としてはまだ珍しかったアメリカ録音。しかもバックを務めているのは、リトル・フィートである。

リトル・フィートは、フランク・ザッパのマザーズに在籍していたロウエル・ジョージを中心に結成された、西海岸の白人黒人混成バンド。当時の日本では、まだ無名に近い存在だったが、70年代ソウルのファンキーな感覚をいち早くロックに取り入れ、当時としては斬新な音を作り続けていた。そのリトル・フィートを、矢野顕子は堂々とバックに促している。まさに「促している」という感じで、リトル・フィートのアメリカン・フレイバーを取り入れながらも、彼女の強烈な個性が、西海岸のバンドをなかなかに引き立てている、といった印象を受ける。リトル・フィートのメンバーたちも、彼女には惜しみない賞賛を与えていたようだ。

このアルバムは、ジャケットからも伺えるように、日本的なものがかなり前面に出されている。

津軽民謡や、青森ねぶたの祭囃なども収録されている。また、和太鼓や琴などの邦楽器もふんだんに使われている。このような「日本趣味」的アルバムというものは、ほとんどが奇をてらったあざとい作品になってしまうのが普通である。しかし、このアルバムは、そのようなわざとらしさを持っていない。日本のポップス史上で、日本趣味を前面に出しながらも成功している稀有な例ではないだろうか。

「電話線」は、このアルバムの中でも名曲中の名曲。というよりも、もっとも矢野顕子らしい曲といった方がいいかもしれない。彼女の曲の特徴は、なんといってもその自在なメロディにあるだろう。そしてその自在さは、彼女の肉体感覚に由来している。いわば彼女の曲は、鼻歌の延長ともいえるところに、その良さがあるのであり、アタマで考えた(無理矢理作った)メロディではない。それは、彼女の詩と同様、彼女の内面から自然にほとばしり出るものなのだろう。

最後に「電話線」での彼女のピアノ・プレイだが、これも彼女のピアノらしい自在さが特徴だ。彼女は若い頃ピアノを練習していたとき、「男のピアニストと同じように弾いたのでは、身体の小さい自分は結局たいした演奏はできない」と悟り、「歌うように」弾くことによってピアノに開眼したという。とくにこの曲のピアノは、彼女のボーカルと一体化しており、彼女の歌うようなピアノの典型だ。いまでも彼女は、ドンカマなどを使わず、まず自分のピアノと歌だけをレコーディングし、そこに他の楽器を重ねていく、という手法をとることが多いという。

これだけはチェック! 矢野顕子の厳選4枚

(立川芳雄)



「東京は夜の7時」
(徳間ジャパン 25JC-347)

彼女は3枚のライブ・アルバムを出しているが、どれも聴き応えがあり、しかも彼女のパーソナリティが伝わってきて面白い。このアルバムは、テンションの高さという点では一番。



「こはなができたよ」
(MIDI 32MD-1057)

彼女は一時、YMOのライブ・メンバーとしても活躍していた。このアルバムは、坂本龍一などが全面的に協力しており、YMOのサウンドとリンクする部分もかなり多い。実験的な要素も大。



「BROOCH」
(MIDI MD7-1018)

ピアノとボーカルだけによるアルバム。坂本龍一、高橋悠治も参加。当初は、通信販売による限定発売だったが、現在はCD化されている。彼女のピアノを堪能するには、もっとも適したアルバム。



「時のわが家」
(MIDI MDC7-1011)

80年代日本のポップスの風潮を極めたといえるアルバム。最近の彼女の作品ではピカイチ。楽曲の充実度や、3人のドラマーを贅沢に使い分けたバックなど、どの部分をとっても完璧な出来である。

通信講座

●テキスト郵送回数(添削)／3〜4回 ●入会金1万円 ●受講料／月1万円
通信講座のカリキュラムは、当スクールで使用するテキストを分かりやすくまとめたものです。
専門の講師があなたのスコアを添削いたしますので、自宅で作・編曲のテクニックを習得してください。

作曲

Composition & Arranging School
UPROAD HOUSE

①楽典(音楽を習得するための基礎知識+ジャズ用語)②イヤートレーニング(耳を鍛えることで音の創造力を高め、レコードコピーを早めます)③理論I(一般的なジャズ理論)④作曲I(テーマの作り方とモチーフの発展など)⑤アレンジI(2管から8管までのバンドアレンジなど)⑥理論II(コンテンポラリー理論)⑦作曲II(アウトサイドなもののや無調の曲の書き方など)⑧アレンジII(デューク・エリントンのボーイングとラインの書き方、その他)⑨楽器学(名楽器の使い方とレンジによる音色の違いなど)⑩ビッグバンドライティング(ジャズオーケストラのスコアリングとリハーサルテクニック)⑪インプロビゼーション(ビ・バップやモードにおけるアドリブについて)⑫コンポーザーとその語法(ジョージ・ラッセルのリディアンクロマチックコンセプトなど)

アップロードハウス
〒164 東京都中野区中野5-30-12
マキノビル102

※詳しくはTELにて
TEL: 03-3319-0065
FAX: 03-3319-0025

個人指導

PRIVATE LESSON

映画音楽、ビッグバンド、コンピュータ・ミュージック
どんなジャンルも書けるように指導いたします。
下記のカリキュラムの中で、あなたに合ったところから始めて下さい。
●レッスン回数／月4回 ●入会金2万円 ●受講料／月2万円

ピアノのシンコペーションは軽快なタッチで

採譜／解説：吉田 洋



世は相変わらずもモーツァルト・ブームだが、日本音楽界のアマデウス(=天才)といえど何といってもこの人、矢野顕子! はっきり言って、天才性においては、ダンナ様の坂本龍一をも軽く凌ぐ存在と、筆者は密かに確信している。

なによりもまず、小手先の器用さばかり先行しがちで、"カッコいいけど、どこかで聴いたような"サウンドに溢れた日本の音楽界にあって、この15年もの間、常に自分のベースをキープしつつ、独自の音楽界を追求し続けてきたその姿。

そしてもちろん、多くの作品から窺われる、奇想天外とも形容すべき独創性。作詞面はもちろんのこと、一見捉えどころのないようでいて、実際には超緻密に練り上げられた作曲／アレンジ面といい、さらにはあの魔可不思議な唱法といい、すべてが"常人離れ"の極致! 文字どおりの天才、かつアーティストと呼ぶにふさわしい、数少ない1人といえよう。

……などと、もっともらしく書いてみたものの、実のところ筆者自身、この人の天才性を心底実感できるようになったのは、今から6、7年前のこと。デビュー当初など、純真無垢たる(?)中学生だった筆者にとって、正直"なんか、けったいな娘ちゃん"程度の認識しかなかったわけで、我ながら情けないやら後ろめたいやら。

ともあれ今回、ビンテージ・スコアを引き受けるに当たり、約15年ぶりに「JAPANESE GIRL」に収められた「電話線」を聴き、改めて彼女の凄さにブッ飛んだ次第。

本人は、奇をてらっているつもりなど、これっ

ぽっちもないであろうに、実際のサウンドは奇抜かつ斬新! レトロな印象などまったく皆無で、このまま新曲としても十分に通用しそうな雰囲気。かのリトル・フィートの名前がクレジットされている点のみ、我々中高年齢層の涙を誘う……?

で、本題の「電話線」だが、編成はいたってノーマルで、ピアノとオルガン、ギター、ベースにドラム、そしてボーカル。

オルガンは、スコアを見ての通り、ほとんどあってもなくてもいいようなものなので、1人のキーボーディストで十分だろう。むしろ、リズム・セクションの補充要員として、パーカッショニストがほしいところ。

拍子は4分の4ではなく、2分の2で記されている点、見落とさないように。

つまりは4分音符ではなく、2分音符を1拍と考えるわけで、それだけゆったりとしたビート感が要求される。各パートとも、あまりコセコセとせず、ゆとりを持ってプレイ。

とりわけ、ピアノ・パートには一見複雑そうなシンコペーションが続出しているが、焦らずに落ち着いて。あくまでも2分音符刻みのカウントを頭に思い浮かべながら、必要以上に突っ込まず、軽快なタッチでまとめた。また、イントロ部の装飾音は、重々しくならないように、十二分に練習を積むべし。

曲中、時折出現する4分の5、4分の6といった変則拍子は、ヘタに頭で考えるよりもボーカル・ラインに素直に合わせてしまった方が得策。間違っても、「指折り勘定」などしないように!

VOICE DATA

データ作成／解説：松崎雄一

同奏で聴かれるギター・ソロの音。音はそれほど重んじていない感じで、ボトル・ネック的奏法がなされているのがポイント。ALG16を用いる。このデータで最も気を使っているのは、ピッキングの"ブツッ"というニュアンスを出すこと。モジュレーターのOP2、OP5、OP6あたりを、過渡調気味のレベルにし、EGを急激に絞り込む感じ(R2とL2に注目)にセットして、その雰囲気を出す。OP3は、谷型EG(L2だけ下げる)にして、"カッポーン"という立ち上がりのニュアンスを表現。仕上げは、今流行のマルチ・エフェクターで、オーバードライブ、コンプ、リバーブあたりを直列でかけてやるとよい。演奏にあたってのポイントは、まずモノ・モード(ユニゾン)にし、ボトル・ネックの雰囲気を出すため、ボルタメントを10〜20くらいかけてやること。

◆BOTTLE NECK GUITAR for DX7 II

VOICE NAME : BOTTLE NECK GUITAR ALGORITHM : 16 F.B.LEVEL : 7 OSC SYNC : OFF TRANSPOSE : C3																												
LFO													PITCH EG															
WAVE	SPEED	DELAY	MODE	PMS	PMO	AMD	SYNC	RANGE	VELO	RS	R1	R2	R3	R4	L1	L2	L3											
TRI	34	0	SINGLE	3	0	0	ON	BOCT	OFF	0	0	0	0	0	50	50	50											
OP	A	ENVELOPE															OUTPUT LEVEL					SENS						
	G	OSCILLATOR	DT	RS	R1	R2	R3	R4	L1	L2	L3	L4	S	MODE	OL	LD	LC	BP	RC	RD	VEL	AMS						
	*5	5	R	6.00	0	4	99	72	25	53	99	62	0	0	NORMAL	99	—	—	A2	—	—	6	0					
	5	1	R	9.00	0	4	99	70	15	53	99	65	0	0	NORMAL	82	—	—	E3	—	—	26	3					
	4	3	R	10.00	0	3	99	71	15	53	99	0	0	0	NORMAL	99	—	—	—	—	—	4	0					
	3	1	R	1.00	0	1	99	79	77	53	99	70	99	0	NORMAL	30	—	—	G3	—	—	11	3					
2	1	R	1.00	0	1	73	79	16	53	99	70	0	0	NORMAL	88	66	—	LIN	E3	—	18	5						
1	C	R	1.00	0	6	86	79	7	66	94	99	0	0	NORMAL	99	—	—	—	—	—	—	3						
KEY MODE													PITCH BEND			PORTAMENTO					MODULATION WHEEL							
KEY	SEN	MODE	UNISON	OT	RANG	STEP	MODE	MODE	STEP	TIME	SENS	RAND P																
UNISON	0	2	0	0	LOW	FINGERED	0	0	0	0	0	P	N	A	EG													

Intro. D E G D A E

Vo. - - - - -

Gl. - - - - -

Or. - - - - -

Pf.

Ba. - - - - -

Dr. Perc.

G D [A] E E7 A^{on}E

しろ い こ - え を - の せ - た - で ん わ
 ど こ か に - お き - わ す - れ - た - こ と

2x

2x

C^{on}E E E7 A^{on}E C^{on}E

せん は む ち ゅ う で - そ ら - を か - け て - ゆ く - の や ま ぶ き
 - ば を つ な ぎ と - め る - か ぎ - を - な く - し と び う お

2x

2x

4

4

C Δ 7 Bm7 Am7 Bm7 C Δ 7 Bm7

いろ の きりゅう に のっ て すみれ いろ の みずう ー みを
 いろ の くも の なか を さがし つづ け あなた ー だ け

Am7 C Δ 7 F Δ 7 D Δ E

こえてー } tu lu lu tu lu lu tu lu lu あなたの みみ へ
 に う た ー

B E E7 AmE CmE E E7

どん な に ー とおーく は ー な れー てい てもー ー わたし の ー こーろ は
 くだ け ー ったー ゆ め の か けらは すこ し ず ー つ あつめ

AmE C#mE CΔ7 Bm7 Am7 Bm7

一つ いーて ゆーく あな た を まも ーる た め あ な た を ー つ つ な
 ー て ー い き ま し ょ う ア ネ モ ネ い う ー の ひ か り は な ち ー く ち な

CΔ7 Bm7 Am7 GΔ7 FΔ7 to F

ー た め ほ ほ え ー ー ん で も ら う た ー め } tu lu lu tu lu lu tu — lu lu あ な た の み み へ
 し ー の に お い ー ー ま き ら し ー て

C Dm7 Em7 F Dm7 Em7 F

ま い お ー ち た な み だ を か き あ つ ー め て て の ひ ら に

Am B $\flat$ Am B $\flat$ Dm7 Em7 F Δ 7

のーせてー わ た し に く だ さ いー Ah そ の かー わ り あ た た か な

Dm7 C Δ 7 B $\flat$ Δ 9 A $\flat$ Δ 7 A Δ 7 B $\flat$ Δ 7

う たー をー う た っ てー あ げ る か ら

B7 [D] E E7 A $\equiv$ E C $\equiv$ E

gliss.

Chord progression: E, E7, A^{aug}E, Am, E, E^{aug}D

Chord progression: A^{aug}C⁺, C, E, E^{aug}D, A^{aug}C⁺, C

Section: ♪ Coda

Chord progression: F^{aug}7⁺, Em7, Dm7, C^{aug}7, B^{aug}7

Lyrics: — lu lu あなたの みみへ — tu lu lu — hooh —